

## 令和7年度足南ビジョン

＜学校組織目標＞ 教育の質を高める総合学科「チーム足南」  
～ 生徒自ら未来を切り拓く力を育む学校 ～  
＜生徒目標＞ “夢をつかもう”

|   |   |  |
|---|---|--|
| 目指す教職員像<br>..共に学ぶ。<br>思いに寄り添う。明るい未来を語る。危機感・責任・希望を共有する。チームで働く。 | 生徒の姿<br><br>各部所の取組に反映                                     | ○自分の良さや強みに気づいて、その力を学校生活の中で發揮する生徒<br>○自己実現をめざして進路意識を高め、主体的に学ぶ生徒<br>○多様な考え方や価値観を尊重し、他者と協力して活動に取り組む生徒<br>○生活習慣を確立して心と体のバランスを保ち、健康を増進する生徒  |
|   | 取組の視点<br><br>各部所の取組立案の際の視点                                | ○「産業社会と人間」の意義を確認し、各教科・科目、総合的な探究の時間、特別活動等との有機的なつながりを意識しながら生徒の「自分探しの旅」を支援する。<br>○積極的な関わりにより生徒理解に努め、悩みや問題への指導・支援につなげる。<br>○生徒の主体的な活動を促し、自己有用感を育む学校行事や諸活動の活性化を図る。<br>○生徒一人一人のよさや強みを認め励まし、自己肯定感を育む。<br>○原点に返る（ねらいの意識化・明確化）。<br>○優先順位、働き方改革と業務改善、ワーク・ライフ・バランスを意識する。  |
|   | 努力点と具体的方策<br><br>各部所の取組と教職員の自己目標に反映<br><br>※小文字明朝体は具体的の方策 | ○学びのある授業<br>・ICTの活用や協働的な学びの実現により、生徒一人一人が自ら課題を見出し解決に取り組み学びの成果を実感できる授業を行う。<br>・生徒の学びの活動と成果をしっかりと「みとる」ことができるようにするため、教師自身が「学び、学び合う」ことによって観点別評価の充実を図る。<br>○居甲斐のある学校生活<br>・学校行事、部活動、生徒会活動への積極的な参加を促し、活動する喜びを体験させ、充実感や達成感を得ることで生徒の自己有用感を育成する。<br>・集団の中で各人の役割意識を高め、生徒の責任感を育てるとともに、人権や多様性を尊重し合う集団づくりに取り組み、いじめの未然防止を図る。<br>○「自分探しの旅」と進路実現<br>・「産業社会と人間」や「探究活動」を中心としたキャリア教育の充実を図り、生徒の自己実現に向けた進路に必要な科目選択の指導、支援を適切に実施する。<br>・進路に関する行事や個別指導を適切に実施し、一人一人の職業観・勤労観を育て、生徒の強みを活かした進路実現を図る。<br>○心と身体の健康<br>・教育相談体制の充実を図り、生徒や保護者が抱える問題や悩み等について、教職員間の情報共有やSC・関係機関との連携を通して組織的な支援を行う。<br>・保健指導・清掃指導・安全指導等の徹底を図り、安全管理体制をより一層強化し、安全で健康的な生活を維持・向上させる。<br>○安全・安心な学習環境<br>・学校教育活動における安全確保のため、施設や環境の安全確認の徹底による事故の未然防止を図り、また事故発生に備えた体制作りに努める。<br>・日頃の生徒観察、声かけ指導等により、事故防止や問題行動等の未然防止を図る。<br>○開かれた学校・地域との連携<br>・HPの更なる充実など本校への理解を深めるための情報発信の強化を図る。<br>・地域・PTA・同窓会・関係団体等との連携やボランティア活動・国際交流への参加について、各種活動を活性化していく。 |

学校評価への反映